



丸小だより

～実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

No. 6

令和3年10月4日(月)

子どもが輝く☆ 学校が輝く☆ みんなも輝く☆

校長 倉本 恵

分散登校期間中に季節は進み、正門のサクラは色づいた葉を次々と落とし、花壇のヒマワリはたくさんの種をつけています。

緊急事態宣言が解除され、全校の子どもたちが同じ時間帯に登校する日常が帰ってきました。活気があり嬉しいと思う反面、感染拡大を防ぐにはより一層職員も子どもたちもルールやマナーを守ることが必要とされるのが、なんとも痛しかゆしです。子どもたち同士が、制限なく元気な声で呼びかけ合ったり、手を取り合ったりできる日々が早く戻ってきてほしいものです。

さて本校では緊急事態宣言下でもできる準備を進め、10月16日(土)に、運動会に代わる行事として運動することを楽しむ「丸リンピック2021」を開催することにいたしました。(詳しくは中面をご覧ください)

1日おきの登校や制限のある生活に、心や身体のリズムが崩れがちな子どもたちの様子も見られます。運動不足の状態も否めません。「丸リンピック」に向けて少しずつ心も身体も動かし、子どもたち一人ひとりが輝きを増すことを願っています。感染が拡大したら、準備を進めても残念ながら急に中止という可能性もないわけではありませんが、何かに向かって準備をする経験は決してむだにはならないはずです。



丸リンピック開催に間に合うよう、校庭の防球ネットの張替工事も無事9月中に終了しました。本校にとって初めての試みとなりますが、職員一同協力し合ってよき一日となるよう子どもたちと準備をして参りますので、開催に向けてご理解ご協力をお願いいたします。

「子ども・学校を見つめて ～児童支援専任だより～」

児童支援専任 森 洋介

本校教育活動の特色のひとつに「たてわり活動」があります。異学年のグループを組み、年に数回、室内遊びをともに楽しんだり、学校行事の中で互いの取組を見合ったりする活動です。多くの人と関わり、多様な考え方にふれる機会にもなる貴重な活動です。

現在、感染症拡大防止の観点から、たてわり活動の実施も制限されている状況です。しかし、日常の子どもたちの様子を見ていると、本校がたてわり活動で培ってきたものは着実に根付いていると感じます。登校時には、車道に出そうな低学年をそっと歩道に戻す、上学年のさりげない気遣いが見られました。校内では、他の学年の図工の作品をじっと鑑賞し、工夫しているところを友達と話す姿がありました。そして休み時間には、高学年の委員会活動の様子をあこがれの目で見つめている低・中学年の姿がありました。

今年度の運動会は、お知らせした通り、内容を変更し、運動することを楽しむイベントとして、全校を3つのブロックに分ける分散型で行います。3つのブロックはそれぞれ、1年と6年、3年と5年、2年と4年という、今年度のたてわり活動のペア学年となります。異学年と運動を楽しむ中で、上の学年は活動をリードし、下の学年は、そのリードによって気持ちも体もほぐれ、共に気持ちよく体を動かす場面が見られると思います。そして6年生は、最高学年として、3つのブロック全てを支える役割を担い、丸山台小学校の良き伝統を活動で示す貴重な1日となります。

当日は、このような子どもたちの関わりを、温かい眼差しで応援していただければ幸いです。